

S社は、単一工程において1種類のみを見込み生産し、単一工程単純総合原価計算を適用している。平成24年6月における次の生産・原価データに基づき、問に答えよ。なお、原料はすべて工程の始点で投入している。計算上の端数は四捨五入により円の位まで求めること。ただし単位原価は、銭の位まで求めること。

<生産・原価データ>

| | | | |
|--------|-----|----------|-------------|
| 期首仕掛品 | 数量 | 400kg | (加工進捗度 50%) |
| | 原料費 | ¥95,000 | |
| | 加工費 | ¥43,600 | |
| 当期投入数量 | | 600kg | |
| | 原材料 | ¥150,000 | |
| | 加工費 | ¥238,000 | |
| 期末仕掛品 | 数量 | 300kg | (加工進捗度 60%) |
| 当期完成品 | 数量 | 700kg | |

(問 1) 期末仕掛品の評価は平均法によるものとし、以下の金額の計算式と答えを示せ。

(1) 期末仕掛品原料費

$$= (95,000 + 150,000) \times \frac{300}{700 + 300} = \mathbf{73,500}$$

(2) 期末仕掛品加工費

$$= (43,600 + 238,000) \times \frac{300 \times 0.6}{700 + 300 \times 0.6} = \mathbf{57,600}$$

(3) 期末仕掛品原価

$$= (1) + (2) = 73,500 + 57,600 = \mathbf{131,100}$$

(4) 当期完成品原価

$$= (95,000 + 43,600 + 150,000 + 238,000) - 131,100 = \mathbf{395,500}$$

(5) 完成品単位原価

$$= (4) \div 700 = 395,500 \div 700 = \mathbf{565}$$

(問 2) 期末仕掛品の評価は先入先出法によるものとし、以下の金額の計算式と答えを示せ。

(1) 期末仕掛品原料費

$$= (150,000) \times \frac{300}{600} = \mathbf{75,000}$$

(2) 期末仕掛品加工費

$$= (238,000) \times \frac{300 \times 0.6}{700 - 400 \times 0.5 + 300 \times 0.6} = \mathbf{63,000}$$

(3) 期末仕掛品原価

$$= (1) + (2) = 75,000 + 63,000 = \mathbf{138,000}$$

(4) 当期完成品原価

$$= (95,000 + 43,600 + 150,000 + 238,000) - 138,000$$

$$= \mathbf{388,600}$$

(5)完成品単位原価

$$= (4) \div 700 = 388,600 \div 700 = \mathbf{555.14}$$

(問 3)上記の<生産・原価データ>において当期完成品が 700kg ではなく 680kg であり、正常な仕損品が 20kg(加工進捗度 45%)発生したとして、以下の金額の計算式と答えを示せ。ただし、仕損品の評価額はゼロとし、仕損費は当期完成品と期末仕掛品の両方に負担させるものとする。期末仕掛品の評価は平均法による。

(1)期末仕掛品原料費

$$= (95,000 + 150,000) \times \frac{300}{680 + 300} = \mathbf{75,000}$$

(2)期末仕掛品加工費

$$= (43,600 + 238,000) \times \frac{300 \times 0.6}{680 + 300 \times 0.6} = 58,939.53 \rightarrow \mathbf{58,940}$$

(3)期末仕掛品原価

$$= (1) + (2) = 75,000 + 58,940 = \mathbf{133,940}$$

(4)当期完成品原価

$$= (95,000 + 43,600 + 150,000 + 238,000) - 133,940 \\ = \mathbf{392,660}$$

(5)完成品単位原価

$$= (4) \div 680 = 392,660 \div 680 = \mathbf{577.44}$$